人・自然・伝統　与謝野で織りなす 新たな未来

YOSANO

広報よさの

No.188

10
2021

今月の表紙
野田川橋りょうを渡る京都丹後鉄道

● 主な記事

02　ぼくたちわたしたちの熱い夏
06　令和３年度町政懇談会Ｑ＆Ａ
10　連載　ゼロ・カーボンシティ与謝野
12　協働のまちづくり（後編）

ぼくたち
わたしたちの

熱い夏。

この夏、近畿や全国を
舞台に活躍した21人
の生徒を紹介します。

左／下村さん、右／長島さん

全国制覇。

宮津天橋高校
ウエイトリフティング部

今年から女子がインターハイ種目となり「初代団体優勝校」を目指して挑んだ令和3年度全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会。

大会までの道のりは険しく、コロナ禍で出場を予定していた大会の中止や、練習にさまざまな制限が加わるなど我慢の日々が続きました。顧問の柏木麻希教諭は、「2時間という限られた時間でどれだけ集中してトレーニング量を確保するか。また、選手とコミュニケーションを取り、モチベーションの維持や目標を見失わないように練習を重ねてきた」と話します。迎えた当日は、初めて全国大会を経験する選手が多い中、「堂々と試技する選手の姿に感動しました」と大会を振り返ってくれました。

【全国優勝】

長島　和奏 さん（加悦谷学舎1年・江陽中）女子76kg級

「開催してくれたことに感謝の気持ちでいっぱいです」と長島さん。自身の記録と日本高校新記録を成功させること、個人と団体優勝を目標に挑んだ全国大会。見事、個人と団体は優勝を果たしましたが、「日本高校記録を更新できなかった点は経験不足を実感しました」と悔しさをにじませていました。今後の目標は、「日本高校新記録を樹立することと、来年のインターハイで個人・団体の連覇」と話してくれました。

【全国優勝】

下村　愛里 さん（加悦谷学舎1年・加悦中）女子59kg級

兄の影響を受け競技を始めた下村さんは、当時の日本中学生記録を樹立するほどの実力者。コロナ禍の厳しい時期を乗り越え、個人・団体優勝を目標に挑んだ全国大会は、「何より団体優勝がうれしかった。個人では優勝したが自己ベストに及ばず、成果と課題が良く見えた試合でした」と大会を振り返ります。今後の目標は、「国際大会でメダルを取れる選手になり、将来はオリンピックに出場すること」と話してくれました。

令和3年度全国高等学校総合体育大会
ウエイトリフティング競技大会　男子96kg級出場

小西　智哉 君（加悦谷高校3年・加悦中）

全国優勝クラスがひしめく京都府予選を突破し、初めて手にした全国大会への切符。「試合を楽しむことを忘れず、自分らしい試技を意識しました」と小西くん。残念ながら入賞とはなりませんでしたが、「全国の舞台を目指して2年半努力をしてきた。今後の人生において大きな自信になりました」と話してくれました。

CLOSE UP

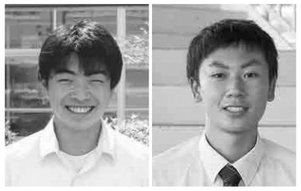
加悦谷高校・宮津天橋高校
ウエイトリフティング部

全国でも屈指のウエイトリフティング部を有する加悦谷高校・宮津天橋高校。これまでから何人もの全国優勝者を育成し、中にはオリンピック出場を果たした選手もいるほど。強さの秘訣はどこにあるのか？　顧問の柏木教諭は、「本校の職員だけでなく、外部指導者や保護者、京都府ウエイトリフティング協会のご理解とご協力があり選手の育成ができている」と話します。今年は1年生から2人の全国優勝者が誕生。今後のさらなる活躍にご注目ください！

第74回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
近畿地区予選会　男子4×100mリレー　出場

髙岡　颯太 君（宮津高校3年・橋立中）

下野　心音 君（宮津天橋高校加悦谷学舎2年・加悦中）


左／髙岡君、右／下野君

「リレーで近畿大会出場」を目標に3年間走り続けてきた髙岡君。最初で最後となった近畿大会は、「個人・チームとしてベストに近い走りができ、レベルの高い選手たちと勝負できた。これまでチームでつないできたバトンで、目標としていた近畿大会出場を達成できた仲間と一緒に走れて楽しかったです」と話してくれました。

「リレーメンバーは僕以外は3年生。3年生の力で近畿大会に出場することができて感謝しています」と下野君。チームベストを出すことはできませんでしたが、「大舞台でバトンミスなく、自分たちの納得のいく走りができました」と大会を振り返ります。今後の目標を、「もっと走力を上げて、自分たちの代でもリレーで近畿・全国大会に出場できるようにがんばります！」と話してくれました。

第74回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
近畿地区予選会　男子8種競技　8位入賞

中西　陸 君（加悦谷高校3年・橋立中）

高校1年から目標にしていた全国大会出場を目指して挑んだ近畿地区予選会。大会の雰囲気に飲み込まれそうになりましたが、「3年間やってきたことを自信に楽しむことができましたが、正直悔しいです」と中西君。今後の目標は、「大学進学後も競技を続けて、全国大会出場・入賞を目指します」と話してくれました。

第45回全国高等学校総合文化祭紀の国わかやま総文2021
書道部門　出展

松瀬　夏帆 さん（宮津天橋高校加悦谷学舎2年・橋立中）

京都府代表に選ばれたときは、「とてもうれしかった」と松瀬さん。思わず立ち止まってじっくり見たくなる作品になるようにと思い込めて書き上げたといいます。入賞とはなりませんでしたが、「出展できるのは全国で300人。その中でも次は入賞できるよう、日々努力を積み重ねていきたいです」と話してくれました。

第45回全国高等学校総合文化祭紀の国わかやま総文2021
美術・工芸部門　出展

和田　夢花 さん（宮津高校3年・江陽中）

山﨑　さら さん（宮津高校3年・加悦中）

左／和田さん、右／山﨑さん

「自分の内面に自信を持ちたいと思っている人に見て欲しい」という思いを作品に込めたと和田さん。コロナ禍で部活動の時間が制限される中、「十分なクオリティまで上げられなかったが、絵の具や銀箔、ラメなどで華やかさが表現できました」と話してくれました。

1番好きな花「スイートピー」と高校生活の経験の層を表現した「錆」をテーマに描いた山﨑さんは、「苦手だった油絵の具を使いました」と、高校生活最後の作品で苦手克服に挑戦。「絵の中に箔を使ったり写真を貼って表現の幅を広げる工夫をしました」と話してくれました。

2人とも入賞とはなりませんでしたが、顧問の西田鳩子教諭は「コロナ禍で部活時間が制限される中、ひたむきに取り組んだ生徒の作品が全国の舞台で展示されたことを大変うれしく思います」と笑顔で話してくれました。

令和3年度全国高等学校総合体育大会
ボート競技大会　出場

太田　心菜 さん（宮津天橋高校宮津学舎2年・橋立中）

竹原　李花 さん（宮津天橋高校宮津学舎2年・橋立中）

西村まどか さん（宮津天橋高校宮津学舎2年・加悦中）

左／太田さん、中／竹原さん、右／西村さん

近畿大会で見事優勝を果たし、全国制覇を目標に掲げて挑んだ全国大会。前半から1番を取る自分たちらしいレースができず、「自分たちの力を最大限に出し切れなかった」「思うような動きができず、弱さが出たレースだった」と悔しいレースだったと竹原さんと太田さん。自分たちと全国の強豪との違いは、「レース前からの行動に落ち着きと余裕があること」と西村さんは大会を振り返ります。悔しい結果の中でも、全国の強豪から学ぶことが多く、さらに練習を重ね次の全国大会では自分たちらしいレースをしたいと、早くも次を見据え、今後の目標は3人そろって「全国制覇！」と話してくれました。

がんばってます！消防団

編集●本部

地震防災への備え

地震を防ぐことはできませんが、日ごろの心がけで被害を少なくすることはできます。今月号では、もしものときに身を守る**「地震発生時の10ヵ条」**を紹介します。

地震発生時の10ヵ条

1　まず、身の安全

落ち着いて机の下に身をかくし、安全を確保する。

2　落ち着いて、火の元確認

揺れがおさまってから、火の始末をする。

3　火が出たら消火

「火事だ！」と大声で叫び、隣近所に協力を求める。

4　戸を開けて、出口を確保

玄関など、非常脱出口を確保する。

5　慌てて外に飛び出さない

瓦やガラスなどの落下物に注意し、落ち着いて行動する。

6　避難は原則徒歩で、荷物は最小限

車を使わず、避難場所に原則徒歩で移動する。

7　山崩れ・崖崩れ・津波に注意

山間部や海岸地帯で地震を感じたら、早めの避難態勢をとる。津波は弱い揺れでも1分間以上続けば避難する。

8　路地・塀ぎわ・崖に近づかない

ブロック塀・門柱・自動販売機は倒れやすいので注意する。

9　協力しあって応急救護

高齢者や身体障害者、けが人などに声をかけ、みんなで協力し合う。

10　正しい情報を入手

うわさやデマに振り回されずに、ラジオやテレビなどで正しい情報を入手する。

万が一のときに備えて、非常持出品・備蓄品の準備を

水
飲料水は1人1日3リットルが目安。生活用水は風呂や洗濯機に貯水しておく。

衣類
下着・上着の他に、タオルなども準備する。

ラジオ
予備の電池は多めに用意する。

貴重品
現金・権利証書・預貯金通帳・免許証・健康保険証など。

非常食品
缶詰・アルファ米などの火を通さなくても食べられるものなど。

応急医薬品
絆創膏・傷薬・包帯・胃腸薬・鎮痛剤など。

照明器具
懐中電灯・ロウソク・マッチ・ライターなど。懐中電灯は1人に1個づつ。予備の電池も忘れずに。

令和3年度全国高等学校総合体育大会
男子ハンマー投　出場

坂根玄太郎（さかねげんたろう）君（峰山高校3年・江陽中）

近畿大会を制し、高校入学時に決めた日本一を目標に挑んだ全国大会。残念ながら予選落ちとなり、「陸上競技をやってきた中で一番悔しかった」と坂根くん。しかし、失敗から学ぶことができたと、すでに気持ちは次の大会へ向いています。今後の目標は、「京都高校記録の更新と、将来は世界大会に出場」と話してくれました。

令和3年度全国高等学校定時制通信制体育大会
卓球大会　出場

杉本　紗那（すぎもとさな）さん（清新高校1年・江陽中）

「全国の舞台でも落ち着いて試合することができ、悔いのない大会でした」と杉本さん。全国の強豪との試合は、相手の戦術を学ぶだけでなく、自身の得意・不得意を知る機会になったと大会を振り返ります。今後は、「今回の大会で見つけた不得意の克服と得意なところを伸ばして全国で活躍したいです」と話してくれました。

第70回近畿中学校総合体育大会
女子低学年4×100ｍリレー　出場

橋立中学校リレーチーム

山本（やまもと）　望愛（のあ）さん（2年）
半海（はんかい）　空亜（くうあ）さん（2年）
三宅（みやけ）　美聖（ちゅあ）さん（2年）
牧井（まきい）　美波（みなみ）さん（1年）
矢野（やの）　渚紗（なぎさ）さん（1年）
山﨑（やまざき）　望愛（のあ）さん（1年）

上段左から三宅さん、半海さん、山本さん
下段左から牧井さん、山﨑さん、矢野さん

京都府大会はわずか0.01差の2位。「近畿大会では京都府1位になる」を合言葉に挑んだ大舞台。京都府代表として初めて走る予選会は、緊張しながらもチームの心を一つにバトンをつなぎ最後まで駆け抜けました。結果は残念ながら予選落ちとなりましたが、「最後までバトンをつなぐことができて良かった」「悔しい結果だったけど、一人ひとりがベストを尽くせた」「もう少しタイムを縮めたかった」と大会を振り返ります。大舞台を経験した6人は、「日々の練習を大切にして、このチームで来年も近畿大会に出場する」と目標を話してくれました。

令和3年度全国中学生カヌー大会
男子K－4（500ｍ）6位入賞

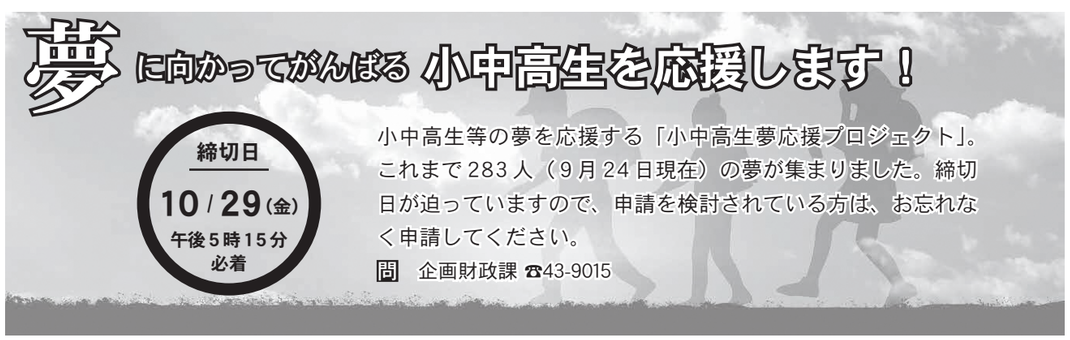
小田　朔至（おださくと）君（加悦中3年）

「週2回しか練習できない環境を言い訳にせず、家でのトレーニングがこの結果につながった」と小田君。K－4（フォア）以外にもK－1（シングル）とK－2（ペア）に出場し、ともに準決勝まで進出。最後の全中を終えて、「カヌー部のある高校に進学しインターハイで入賞したい」と今後の目標を話してくれました。

小中高生や町内出身の大学生や社会人の活躍を広報紙で紹介します！

今月号では、町内の中高生の活躍を紹介しました。スポーツや文化だけでなく、さまざまな場面で活躍している人や団体等を紹介します。企画財政課広報情報係まで情報をお寄せください。
※ 取材の際は、ご協力をお願いする場合があります

【連絡先】
☎ 43-9015　ファックス 46-2851
メール kikakuzaisei@town.yosano.lg.jp



町政懇談会 Q&A

皆さんの疑問にお答えします。

８月６日・10日・18日の３日間、加悦・岩滝・野田川地域で町政懇談会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、例年より会場と参加者を制限しての開催でしたが、延べ80人の皆さんから、町政に関するご意見やご提案、ご質問をいただきました。今回は、町政懇談会であった質疑応答の中から主にまちの施策や計画に関する内容について紹介します。

※　編集の都合上、実際の応答と一致しない場合があります
※　回答は町政懇談会時点のものです

まちの財政を持続可能なものに

まちづくり

Q01 財政の健全化は物・人・サービスだと思う。人の面で総労働時間と総人件費の抑制、行政機構の最適化計画が具体的に示されていない。また、一部の人・団体・事業者に対し、毎年のように補助金や助成金が支出されているが、財政改革のためには絞り込んでいくべきだと思う。

A 3月に作成した「与謝野町財政計画」に3つ課題を記しています。「大型の投資等による歳出規模が増大していること」「下水道会計への繰出金が多額に上っていること」「公共施設のあり方の最適化」です。まちの財政を持続可能なものにするために、これらの課題を解決していくことが重要と考えています。また、第3次行政改革大綱では、職員の適正化計画を作ることを掲げています。補助金については、事業所向けや個人向けなどが多くあり、減らせていないのが現状です。新たに創出する補助金は、終期を決めて一定の効果が出たら廃止することとしています。

Q02 まちに仕事があると若い人にUターンしてもらいやすくなると思うので、若い人が帰ってきやすい施策をお願いしたい。

A 移住定住者の増加は、会社を経営されている立場、地域を構成する立場でも重要なことであり、できる限り進めていけるように努力していきます。

Q03 与謝野町過疎地域持続的発展市町村計画の最大の目的は何か。

A 目的は弾力的で有利な財源確保や税制優遇措置等を受けるためです。

Q04 自治体により支援制度が異なるので、2市2町（宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町）の連携が必要ではないか。

A 京都府北部の5市2町で北部地域連携都市圏を形成し、観光・公共交通・防災等で連携を進めています。また、宮津与謝の1市2町では、天橋立を世界遺産登録に向けた取り組みや府道の整備などで連携しています。

Q05 ちりめん街道に移住者の方がカフェを開業された。ちりめん街道は与謝野町の観光の起点であり、地元や行政も具体的なアクションを起こす必要があると思うが、まちの考えは。

A ちりめん街道で移住者の方がカフェを開設されたことは画期的なことなので、行政や地域も応援をしていくことが重要と思っています。

Q06 子どもたちの居場所づくりを含め地域共生社会をつくりあげる必要があると思うが。

A 昨年度から小学校と家庭以外の居場所をつくるため、キッズステーション事業を開始

多くの「キッズステーション」を形成していきたい

し、岩屋区や後野区、男山地域のNPO法人や地域住民の方々が取り組まれています。今後、一つでも多くのキッズステーションを形成していきたいと考えています。

Q07 京の豆っこ肥料の原材料で改善すると言いながら2年が経過している。

A 京の豆っこ肥料の原材料である魚のあらとおからの確保が難しくなってきたことが、供給が追いついていない原因の一つです。まずは原材料の確保に務めます。

Q08 配布資料に織物業の人材確保の取り組みがあるが、人材が足りていないと理解したらよいか。

A 事業を継続したくても後継者がいない、法人化して販路拡大をしていく中で織り手を確保できないなどのケースが生じています。

Q09 相談窓口に心理カウンセラーを配置する必要があるのでは。

A 心のケアの必要性はコロナ禍で高まっていると認識しています。恒常的ではないですが、臨床心理士の協力を得て相談対応をしています。職員体制は構築できておらず、今後、仕組みを検討していきます。

Q10 町の歳入を増やすと期待される「ふるさと納税」の実績は。

A 令和2年度決算で約4700万円の寄付があり、制度発足後、最高額となりました。全国的に人気がある返礼品は肉と海産物であり、与謝野町では昨年の12月から海産物を取り扱っています。令和2年度決算では効果が表れていませんが、令和3年度に期待しています。

Q11 令和2年度から与謝保育園はかやこども園に、与謝小学校と桑飼小学校は加悦小学校に統合されたが、統合後の検証はされているのか。

A 保護者の方からは統合してよかったと聞いています。また、教員の心配も杞憂（きゆう）に終わる部分が多く、子どもたちはのびのびと活動していると聞いており、今のところはおおむね良好だと検証しています。

Q12 男山区有林付近に粗大ごみや産業廃棄物の不法投棄があり、住民環境課から看板をもらい設置し多少効果はあるが、啓発や不法投棄防止に協力と知恵をいただきたい。

A 与謝野町内全域で山間地域での不法投棄があり対応に苦慮していますが、解決策を持ち合わせていないのが現状です。

Q13 区要望で外灯やカーブミラー設置の要望を提出するが、毎年お金がない理由で却下される繰り返しだ。財政がひっ迫していることは理解しているが一緒に考えていただきたい。

A 現在は要望事項に対して簡潔に返答しており、今後はまちの考え方をしっかりお示しするよう対応していきます。

施設管理

Q14 クアハウス岩滝は多額の費用をかけて改修したにも関わらず、何回も不具合が発生していること自体、由々しきことだと思うが。

A クアハウス岩滝は開業から27年が経過し、施設全体の老朽化が進んでいます。大規模改修では住民の皆さんの健康増進を図る施設として、主に施設整備とエレベーターの設置を行いました。今年度も修繕を必要とする設備等が残っているため、指定管理

者と協議しながら進めていく予定です。

Q15 道の駅の要件として24時間トイレと公衆電話が必要だと思うが、24時間トイレをなくすことは道の駅でなくなると理解したらよいか。

A 24時間トイレは老朽化のため解体をして、駐車スペースとして利用します。24時間対応トイレは、道の駅の中にあるトイレを24時間使えるように工事をしています。

Q16 登山マラソンのコースでもあり、大江山に登る一つの起点の池ヶ成公園のトイレをなぜ閉鎖されたのか。

A 池ヶ成公園のトイレは数年前の災害で屋根の一部が崩れ危険なため閉鎖しています。また、簡易水道設備も被災し使えないことから、トイレの設置自体をどのようにするか協議が必要と考えています。

CLOSE UP　野田川地域の社会教育施設および就学前・保育施設のあり方に関する質疑

野田川会場では、野田川地域の社会教育施設および就学前・保育施設のあり方に関すること、また、８月22日にスタートした「よさの地域デザイン会議」に関する質問が多くありました。ここでは、この２点の質議を紹介します。なお、よさの地域デザイン会議の概要や会議情報等は、町公式ホームページ（右記ＱＲコード）で随時掲載していますのでご覧ください。

計画を白紙に戻し、住民の皆さんと最適解を出していきたい

Q17 ３つのまちが対等合併した場合は、庁舎や体育館などすべて３分の１にするのが基本だと思う。具体案を挙げると、３つのうち１つを与謝野町の体育館にして、他の２つはその地域に払い下げをするような発想の転換をしないと公共施設の統廃合は進まない。各区長なり、住民の意見を聞く方が具体的な案が出ると思う。

A 今後の公共施設のあり方については、住民の皆さんに参画をいただき取り組みを進めていきます。手法やアイデアについて議論されると思うので、議論をオープンにする姿勢で今後の取り組みを進めていきます。

Q18 公共施設を減らしていく中で、例えば現在３つある体育館を使えるところまで使い、老朽化で使えなくなった時点で使用停止にして、小中高の体育館を使わせてもらえばよいのではないか。

A 体育館やグラウンドを活用される方の活動は、社会教育の観点から支えていかなければならないと考えています。一方で今後のまちの財政状況等を考えたときに、全ての公共施設を維持できない状況にあります。どのように住民の皆さんに納得いただき進めていけるのかは、住民の皆さんの力を借りなければできません。８月22日からのよさの地域デザイン会議で多様な意見をいただき、方向性を見出していきたいです。

Q19 野田川体育館のある場所は、図書館や商工会などがあるので残して欲しいが、行政はあの場所に固執されているように感じている。あの場所に固執せず白紙撤回という第三者委員会の結論に重きを置き判断していただきたいが、野田川地域のこども園は早く建ててあげて欲しいと思っている。町長は６月末に野田川地域のこども園や保育所に行かれて保護者から意見を聞かれたと思うが、どのような意見があったのか。

A 一旦計画を白紙に戻し住民の皆さんとの議論を通じ最適解を出していきたいと考えています。６月末から８月上旬にかけて野田川地域のこども園と保育所の保護者の皆さんと懇談をしました。内容は予定どおり野田川地域の認定こども園を完成させることができなかったことの謝罪が目的です。保護者の皆さんからは、これからどのように進めるのか、野田川地域の認定こども園の新設が遅れる場合、現施設の充実にも目を向けてほしい等のご意見をいただきました。

Q20 なぜきちっとしたグランドデザインが描けないのか。

A 町民憲章を理想とし、第２次与謝野町総合計画を策定し、それに基づき行政運営を行っています。第２次与謝野町総合計画は、**みんなでみらいをみえるかたち**で作っていくことを理念とし、７つの政策方針を掲げてその方針に基づき毎年度の予算編成を行っています。

Q21 町職員がまちづくりを担い進めていくのは限界がある。いかに町民が持っている能力を引き出して、結集させていくかがまちづくりの生命線だと思う。今までどおり行政が作った原案を基に町民が協議していくかたちではなく、グランドデザインを作る段階から、町民の知恵が結集できるかたちをつくることに知恵を絞っていく必要があると思う。

A よさの地域デザイン会議は、３地域それぞれ20人ずつの合計60人を想定しています。まずは地域毎に事情が違うので、そこでデザインを作り上げていただきたいと考えています。

Q22 よさの地域デザイン会議は、30人を目途に募集をされて20人しか集まっていないとのことだが、追加募集はされないのか。

A ３地域各20人弱という状況です。この20人に手を挙げていただくのに、すでに２回募集をしましたので、これ以上追加募集する考えは持っていません。

Q23 まちづくりをするのに、意見を言いたい人は参加してくださいというかたちになぜできなかったのか疑問に思う。

A 無作為抽出で委員会を立ち上げるのは初めてであり、他の自治体の事例を参考にしました。委員は性別や年代の区別なく無作為抽出して、その中から手上げ方式で選出しています。どのような結果になるかわかりませんが、住民参画の一つの新しい手法として実施します。意見を述べたい方の意見を広く集めることは、今後検討していきます。

新たな住民参画として、よさの地域デザイン会議を設置します

Q24 以前、こども園の議論をしたときに、意見を行政がまとめたときには全く違うものにまとめられていたと聞いたので心配である。よさの地域デザイン会議が８月22日から始まるが、どの地区で誰が委員になっているのかわからない。町民はどの人が委員になっていて、どういう議論がされるのか見えない。無作為で選び議論するかたちはいいように見えるが、本当にうまくいくのか。

A 子ども子育て会議で議論されていた内容と結論が違うのではとのご意見は、私たちはそのようには思っていません。そのように言われるのであれば、どこが不十分であるのか具体的に示していただかないと話しができません。後日、ご指摘いただければ返答をさせていただきます。

与謝野町は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき「第２次与謝野町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定しています。本計画はまちの自然的・社会的環境に応じて、温室効果ガスの排出抑制等のための総合的かつ計画的な施策を推進するとともに、町民や事業者の行動の促進を図ることを目的としています。

今月号から３回（10月号・12月号・令和４年２月号）にわたり、本計画の内容をお知らせしていきます。今月号は「計画の策定経過および内容」についてお知らせします。

２０５０年までに、温室効果ガス排出量「実質ゼロ」を目指します。

気候変動問題は、遠い未来の話ではなく、今、目の前にある問題です。

気候変動に関する科学的知見

世界中、そして日本でも気候変動によるものと考えられる異常気象が起こっています。

気候変動に関する最新の科学的知見を整理している「気候変動に関する政府間パネル」では、２０１３～２０１４年に公表した第５次評価報告書の中で「気温上昇に疑いの余地なく、人間活動が近年の気温上昇の主要因であった可能性が極めて高い。気候変動を止めるには、温室効果ガスの人為的な排出と吸収を均衡させる必要がある」と示しました。

さらに、２０１８年に公表した１・５℃特別報告書では「産業革命以降に世界平均気温は約１℃上昇しており、１・５℃でもリスクは大きく、これが２℃になるとリスクはさらに大きくなる。１・５℃未満に抑えるためには２０５０年ころまでに、温室効果ガス実質ゼロを実現する必要がある」などが示されています。

まちの計画策定までの経過

令和２年７月に山添町長から「よさの百年の暮らし委員会（愛称・みらいふ）」に対し、第２次与謝野町地球温暖化対策実行計画に係る意見について諮問し、みらいふでの議論を経て12月に答申をいただきました。

みらいふでは、独自の勉強会やワークショップを行い、２０５０年に温室効果ガス排出量実質ゼロを実現した与謝野町の未来絵図を描き、それを答申に反映させていくという手法で答申書を作成。与謝野町では、その答申をもとに中間案の策定、パブリックコメント、最終案のとりまとめを経て、計画を策定しました。

ワークショップの様子

計画の内容

環境目標を「伝統と自然を活かした暮らし・産業が紡ぐ※ゼロ・カーボンシティ与謝野」とし、地球温暖化対策を推進することにより、先人が育んだ素晴らしい伝統と自然豊かな環境を活かし、町民の暮らしと営みが持続・発展する脱炭素型のまちづくりを目指すことを明記しました。

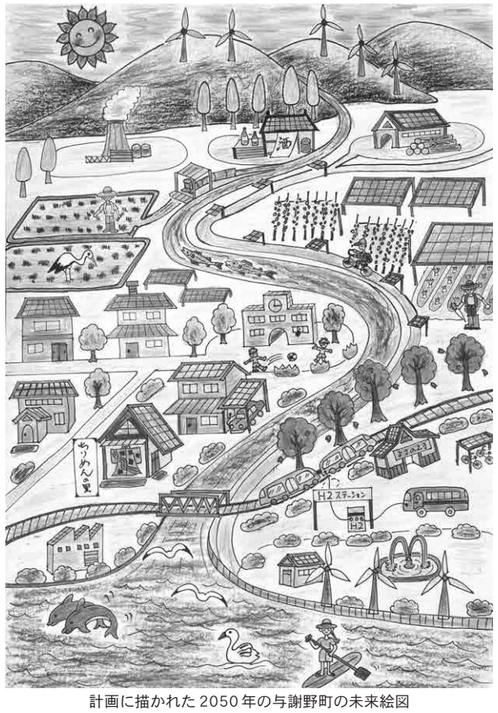
また、環境目標を達成するため、３つの基本方針を定め、町民・事業者・行政が一体となり、温室効果ガス排出量の削減に取り組むこととしています。さらに、次の内容も盛り込んでいます。

①「第２期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略」に掲げる持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）の考え方に基づき、環境保全・経済発展・社会的包摂の総合的発展を目指します。

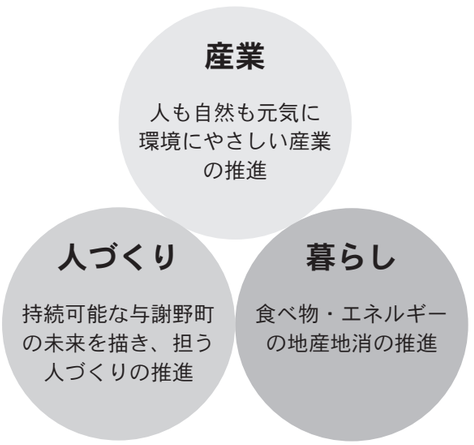
②平成30年８月に「世界首長誓約／日本」に署名し、持続可能で強靭な地域づくりを目指し、同時に※パリ協定の目標達成に向けた取組みを推進することを宣言しています。

③令和２年３月に「２０５０年温室効果ガス排出実質ゼロ」を宣言し、再生可能エネルギーの利活用や地産地消の取り組みを積極的に進めていきます。

次回以降は「２０５０年温室効果ガス排出実質ゼロ」「エネルギーの地産地消」をテーマに、地球温暖化対策についてお知らせしていきます。


計画に描かれた2050年の与謝野町の未来絵図

《用語解説》
■ゼロ・カーボンシティ
温室効果ガスの排出量が実施ゼロになるように取り組みを進めているまち。
■パリ協定
１９９７年に定まった「京都議定書」の後を継ぎ、国際社会全体で温暖化対策を進めていくための礎となる世界約２００ヵ国が合意して成立した条約。



環境目標を達成するための３つの基本方針

よさの百年の暮らし委員会
（愛称：みらいふ）

地球温暖化対策地域協議会として2011年に設立した、町民・事業者・有識者・与謝野町等が参画し、まちの環境対策および地球温暖化対策に関する各種取り組みを行う団体。現在、１２人の委員で構成しており、委員の半数以上は女性です。

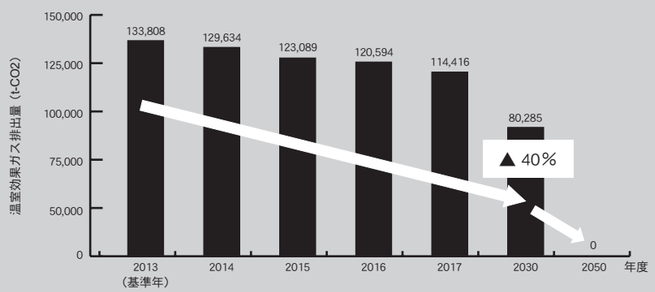
委員会がこれまでの活動を通じて導き出したのは「生活の身近なところから環境に貢献できる方法を考え、できることから無理をしないで実践する」ということです。今後もまちの１００年後の孫やひ孫世代に、豊かな自然と安全な暮らしを残すために活動を続けていきます。

※ みらいふの語源
「みらい」と「ライフ（暮らし）」をかけた造語

データで見る与謝野町 >>>

温室効果ガス排出量と削減目標

～ 2030年に40%削減、2050年に実質ゼロを目指して ～



与謝野町の温室効果ガスの排出量は、2017年度で114. 416t-CO2 であり、2013年度比で約14. 5%減少しています。また、温室効果ガスの削減目標は、パリ協定および京都府地球温暖化対策条例を参考に、2030年度までに2013年度比で**40%以上削減**を掲げています。

※ 温室効果ガス排出量は「地方公共団体実行計画策定・実施マニュアル」に基づき算出した数値

協働のまちづくり

地域のみらいを考える 地域の取り組み（後編）

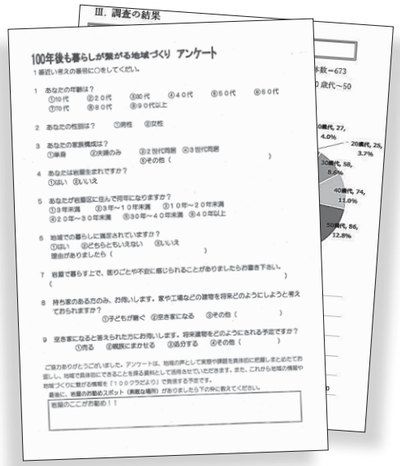
令和２年度から４区（金屋区・三河内区・岩屋区・四辻区）でスタートした協働のまちづくり調査事業。広報よさの６月号（No. 184）に引き続き、安全・安心な暮らしと住みやすい地域づくりに向けて、これからの地域のあり方や必要な地域活動について、岩屋区と四辻区が進められている取り組みを紹介します。

「つながり・交流」の地域づくり

岩屋区は与謝野町の最西部に位置し、地域の９割を山林が占め、中央に岩屋川が流れる自然豊かな地域です。田んぼ・川・公園・空き家などの地域資源を活かした取り組みや、区民の暮らしをサポートする活動を展開し、町内外を問わず「つながり・交流」の地域づくりが活発に行われています。

このような地域づくりにいち早く取り組まれてきた背景には、加速する人口減少と少子高齢化の地域課題がありました。地域内の商店等の減少や医療機関の閉鎖、保育所の閉所や小学校の休校などにより、区民生活は大きく変化し、今後ますます進む高齢化により、地域が抱える不安や課題が増えていく状況でした。

このような状況の中、これまでの活動や取り組みに加え、岩屋での暮らしが「100年後ー3世代先ー」にもつながる地域づくりをみんなで考えようと発足したのが「100年暮らしが繋がる地域づくり推進委員会（愛称・100クラ）」です。



区民に配布されたアンケート

新たなつながりを生む手作りのたより

100クラは、20から60歳代までのメンバーで構成。現在は７人が岩屋公民館を拠点に、岩屋の「むかし・いま・みらい」の見える化についてミーティングを行っています。３月には「100クラだより第１号」を発行。また、中学生以上の区民を対象に「100年後も暮らしが繋がる地域づくりアンケート」を実施しました。

地域支援員の石田美智代さんは、「岩屋区は個々の活動がとても活発で、個性にあふれています。地域の中の情報発信媒体として『100クラだより』がそれぞれの活動をゆるくつなげたり、スポット的につながりを生む場になればと期待しています。誰もが読みやすく、手に取ってもらえる、親しんでもらえる紙面づくりを心がけています。豊かな気持ちで地域の暮らしがつながるといいですね」と話します。

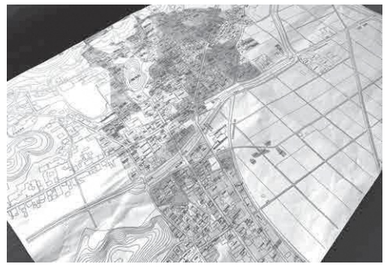
今後は、アンケート結果を区民と共有し、地域でどのようなことができるのか、一緒にアイデアを出し合う場づくりについて話し合いが進められる予定です。

100年後ー３世代先ーにつながる岩屋づくり

100クラが発行しているたより

住宅地にも地域活動縮小の波

住宅が密集し地域内には役場や金融機関をはじめ、医療機関、商店等も集まっている四辻区。このような地域でも人口減少や少子高齢化、空き家の増加、地域活動の縮小など、さまざまな課題が明らかになってきた中、持続可能な区の運営や地域活動の維持を図るための手立てが求められています。


地域情報を見える化した地図

現状の見える化で課題を共有

表面化してきた地域課題に向き合える自治会のあり方を検討し、将来を見据えた組織づくりを模索する一歩目として、区の活動の基軸となる規約改正に着手。「四辻区が地域の実情に合った自治会組織となるべく区の規約改正を行いました。今まで以上に女性が参画しやすい体制を整え、区・区民・区内の各種団体がそれぞれの役割により、地域課題に取り組める自治会活動を推進したい」と山崎正道（やまざきまさみち）四辻区長。一方で「地域のことは地域で考え実行する力が求められていますが、持続可能な区の運営や自治会活動の推進には行政との協働は不可欠。地域課題に対する取り組みや自治会活動を推進できる持続性のある支援のあり方を研究することも必要」と、地域と行政との協働のあり方についても言及されます。

持続可能な四辻区と地域活動の維持を目指して

さらに、住宅地図に空き家をマークして、現状の見える化作業を進めています。図や数字による見える化は、感覚としてある地域課題をより鮮明に実感あるものにするだけでなく、予測される未来を映し出します。「さまざまな資料やデータの蓄積は、自治会にとって今後の自治会活動を支えていく上での貴重な財産。区民と共有しながら地域づくりに活用できるアイデアをともに考え、活動を進めていきたい」と、情報やデータの収集・活用の重要性とこれからの地域づくりに対する考えを話されました。

今後は、地域の情報発信力の向上とデータの共有を図りながら、将来を見据えた地域づくりと持続可能な区の運営を目指し、さまざまな取り組みが進められる予定です。

四辻区はフェイスブックでも情報を発信

協働のまちづくり調査事業

地域の課題解決に取り組んでいくための持続可能な仕組みとは何か、地域と行政との協働のあり方はどうあるべきか、10年後、20年後を見据えた「みらい」を考える事業です。広報よさの６月号（No184）では、金屋区と三河内区の取り組みを紹介していますので、併せてご覧ください。

地域支援員等意見交換会

８月３日、知遊館において協働のまちづくり調査事業地域支援員等意見交換会を開催しました。

３月の意見交換会に引き続き、福知山公立大学地域経営学部の杉岡秀紀（すぎおかひでのり）准教授を講師にお招きし「話し合いの技法と実践」をテーマに講演いただきました。地域における話し合いや対話の重要性のほか、熱海市の土石流災害の事例から考える個人情報、国勢調査の速報値から見る人口推移を視点とした地域での取り組み方、課題への向き合い方を学びました。

後半のファシリテーションの実践では、話し合いの重要性やポイントについて体感・実感したことを意見交換。今後の地域活動の中での実践を通じ、地域の中の人づくりやにぎやかな地域づくりへの意気込みを共有しました。

地域支援員等意見交換会の様子

図書館へ行こう！ BOOKS

ホッと一息

10月1日は「コーヒーの日・お茶の日」です。コロナ禍でおうち時間が長くなりストレスも多い毎日、ゆっくりとした時間はいかがでしょうか？

『コーヒーもう一杯』

平安寿子 / 新潮社

恋人に振られ、会社では大失敗。人生のピンチに陥った主人公がひらめいたのはカフェの開業。しかし開業までの道のりにはメニュー作りなど難題が次々に降りかかります。仕事小説としてはもちろん、店舗経営の追体験ができる物語です。

『ルルとララのかわいいデザートレシピ』

あんびるやすこ / ぴあ

小学生に大人気「ルルとララ」シリーズは、作中に出てくる魅力的なお菓子が魅力の一つ。子ども心をひきつけるお菓子レシピをかわいいイラストで紹介している本。おうち時間のお茶のおともにお菓子作りにチャレンジしてはいかが？

『お茶の時間　楽しむ工夫×世界のお茶100×基礎知識』

暮らしの図鑑編集部 / 翔泳社

いつも同じお茶を楽しむのもよいですが、気分や場面に合うお茶を飲んでみませんか？
世界のお茶の紹介を読むと、その国の文化も知ることができてちょっとした旅行気分が味わえます。

『ねこじたなのにお茶がすき』

今江祥智・ささめやゆき / 淡交社

ハードルが高いと感じられる茶道を、ねこが楽しんでいる？　じいさまが出すお茶を正座で行儀よく、でも猫舌だから冷まして飲むのです。ユーモラスな語り口と柔らかいタッチで描かれた絵本です。

今月の新着図書

一般書 ●『経済は地理から学べ！』小宮路秀作／ダイヤモンド社 ●『中古マンション・戸建てをリノベーションしてカッコよく暮らす』主婦と生活社 ●『ついスマホに頼ってしまう人のための日本語入門』堀田あけみ／ナカニシヤ出版 ●『みとりねこ』有川ひろ／講談社 ●『やさしい猫』中島京子／中央公論新社 ●『九十八歳。戦いやまず日は暮れず』佐藤愛子／小学館

児童書 ●『竜とそばかすの姫』細田守／ＫＡＤＯＫＡＷＡ●『おやつどろぼう』阿部結／福音館書店 ●『こどもサピエンス史』ベングト＝エリック・エングホルム／ＮＨＫ出版 ●『今泉先生のゆかいな動物日記』今泉忠明／ＫＡＤＯＫＡＷＡ ●『東京2020オリンピック・パラリンピック公式競技図鑑』ＫＡＤＯＫＡＷＡ ●『おまつりのおばけずかん』斉藤洋／講談社 ●『妖怪コンビニで、バイトはじめました。』令丈ヒロ子／あすなろ書房

図書館利用のお願い

- 来館時にはマスク着用、アルコールによる手指の消毒、咳エチケットへのご協力をお願します。
- 閲覧席は通常より席数が少なくなっていますので、譲り合ってご利用ください。長時間滞在されていると職員が判断した場合には声をおかけする場合があります。
- 図書館内は冷房中であっても換気のため窓を開ける場合があります。

最新情報はホームページでチェック

●問い合わせ先／与謝野町立図書館 ☎46-2451　加悦分室 ☎43-0376　野田川分室 ☎43-0087
●開館時間／午前10時～午後6時　●休館日／毎週月曜（本館・加悦分室）、毎週火曜（野田川分室）、毎月最終木曜（共通）

時の贈り物［第117回　ノー電気生活 ～脱穀あれこれ～］

三河内郷土資料室に収蔵している昔の農道具を紹介します。

刈り取った稲穂を脱穀する器具として「千歯こき（写真左）」があります。江戸時代の元禄年間（１６８８～１７０４年）に考案されたといわれ、乾燥させた稲穂を上部にくし状に並んだ歯の隙間に入れて引き抜くことで一気に籾が取れます。それまで「こきばし」と呼ばれる竹の棒で行われていた脱穀作業の効率が画期的に向上しました。

千歯こき

千歯こきが大きく形を変えないまま２００年以上活躍した後、明治時代の終わりころ、新たに足踏み式の回転脱穀機（写真右下）が登場。大小の歯車とクランクを活用した脱穀機は、現在もペダルを踏むと非常に勢い良く回ります。円筒部分に稲穂を押し付けることで、表面に張り巡らされたU字型の針金が籾をこそげ落とします。

足踏み式回転脱穀機

この回転機構にペダルの代わりにモーターをつなぐことで脱穀機は動力化の時代を迎えます。現在はコンバインに組み込まれ、刈り入れと同時に脱穀ができるものもあります。

三河内郷土資料室では、紹介した回転脱穀機を実際に踏んでみたり、さまざまな昔の道具を実際に触れて楽しむことができます。お子さんとご一緒にお越しください。

《三河内郷土資料室》
入室料　一般１５０円
（中学生以下無料）
開館日　土・日曜日
（年末年始を除く）
（与謝野町教育委員会）

薬局とのお付き合い
～お薬手帳は患者・医療・介護をつなぐ「連絡帳」～

「薬局」と聞いて、どのようなイメージをお持ちですか？　薬局は医師の処方せんをもとに、薬を処方してもらう場所です。安心して薬を使用するために、相談しやすく、薬の情報や健康上のアドバイスをくれるかかりつけ薬局を見つけましょう。

薬局とは？

病院などの近くにある保険薬局（通称「門前薬局」）、個人薬局、ドラッグストアなどで、薬の専門家である薬剤師がいます。

薬剤師とは？

医薬全般について幅広い知識を持つ薬の専門家。処方せんにもとづく薬の調剤や患者さんへの服薬説明を行うほか、薬の販売・相談・在宅療養といった訪問支援も行います。

お薬手帳は1冊に

薬剤師がアドバイスする内容の多くは、お薬手帳の活用です。お薬手帳は患者さんと各医師や薬局との間の「連絡帳」となり、本人の受けている薬の情報を正確に把握・伝達する最良の手帳です。薬の情報を1冊にまとめることで、皆さんの健康を支えることにつながります。

薬は正しく使いましょう

10月17日から23日までは「薬と健康の週間」です。
薬は病気を治すために使いますが、間違った使い方はかえって体を悪くします。薬について気になることがあれば、かかりつけ薬剤師や薬局に相談しましょう。

薬を飲むときの注意点

◎ 服用時間、用法、用量などを正しく守る。
◎ 飲んでいる薬について正しく理解する。
◎ 医師、薬剤師など専門家に相談して服用する。

薬の保管方法

◎ 直射日光、高温、湿気を避ける。
◎ 外箱や薬袋、添付文書は使い切るまで捨てない。
◎ 使用期限を確認する。

※ 今月掲載予定の「ＡＬＴリレーコラム」はお休みします。次回は12月号に掲載予定です。

よさのみらい大学
YOSANO MIRAI UNIVERSITY

ビジネス学部
デジタル化セミナー
連続講座

受講無料

【与謝野町商工会連携事業】

コロナ禍のピンチを チャンスに変える！
デジタル化と、新・ビジネスモデル開発の戦略と手法を学び、実践につなげる

講座日時	【第１講座】10月15日（金） 利益を上げるデジタル販売手法のコツとツボ 【第２講座】10月29日（金） 利益を上げるデジタル店舗力・販売力アップ 【第３講座】11月12日（金） 利益を上げる情報発信力アップ 【第４講座】11月26日（金） 利益をガツンと上げるまとめ講座 ※ 時間は、いずれの講座も午後２時～４時
会　場	・与謝野町産業創出交流センター（岩滝1767番地1） ・オンライン会議システム「Zoom」 ※ Zoom 受講希望者は、申し込みの際にメールアドレスをご記入ください ※ スマートフォンアドレスの場合、shokoshinko@town.yosano.lg.jp から会議URLを送付しますので、受信可能な状態に設定をお願いします
申込方法	受講申込書に必要事項をご記入のうえ、**10月12日（火）までに**、ファックス・メール・持参のいずれかにて商工振興課まで申し込みください。 ※ 受講申込書と事業概要は、右上のQRコード（町公式ホームページ）からご確認ください
その他	・当講座を３回以上受講された方は、よさのみらい大学ビジネス学部修了書を交付します。 ・修了者は本講座に関連し、専門家と連携してデジタル化の導入による売り上げアップ、業務効率化、働き方改革、営業力強化等の取り組みに「与謝野町産業振興事業費補助金」を活用して実施する場合は、補助条件の優遇を受けることができます。

講師紹介 ― プロフィール ―

渋谷（しぶや） 雄大（たけひろ） 氏
ジャイロ総合コンサルティング㈱
代表取締役社長

神奈川大学卒業後、訪問販売会社にて最年少トップセールスを記録。その後、サプリメント専門チェーン事業部門の責任者としてショッピングセンター・百貨店などへの出店戦略をはじめ、人材育成、プロモーション、広報などを一手に引き受け多店舗展開を達成する。しかし、同社が倒産。サプリメント専門チェーン事業の譲渡交渉責任者を担当し、自然派化粧品会社への譲渡成功へ導く。退社後、Web を活用したプロモーションを実践し、現在は営業強化、店舗戦略、人材育成、販売促進、Web コンサルティングを行っている。講演数は150回を超える人気講師。中小企業診断士。

雲丹亀（うにがめ） 真穂（みほ） 氏
ジャイロ総合コンサルティング㈱
コンサルタント

慶応義塾大学法学部政治学科卒業後、テレビ局（報道部）にて３年間、映像取材業務に関わる。その後、地方公務員試験に合格し、市役所での人事・採用業務に従事。2016年にライター業で独立し、経営・マーケティング知識を学びながら起業コンサルティング業務へ移行。５年間で延べ450人の起業家を支援する。現在は起業スタートアップセミナーや、SNS集客セミナー、DX支援セミナーなどを開催している。

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、すべての講座は開催日の３日前までの事前申し込みとなります。当日参加はできません。参加申込数等により会場を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインを遵守して開催します。

10月30日をもって集団接種を終了します
新型コロナワクチン接種　　問 保健課 ☎43-9022

与謝野町では、10月30日をもって、野田川わーくぱるで実施している新型コロナワクチンの集団接種を終了します。今後の接種は、与謝野町指定医療機関で接種していただくことになります。ただし、医療機関と調整のうえ、接種できる医療機関や接種日時などを限定して実施していきます。詳しくは与謝野町コロナワクチン受付相談センター（☎43・2822）までお問い合わせください。

《接種券》
対象者への送付は完了しています。
※ 平成21年9月1日生まれ以降の方は、12歳の誕生日を迎えた翌月に送付します

《予防接種済証》
接種券（クーポン券）が接種済証になります。接種後も大切に保管してください。
※ 海外渡航時の接種証明証を希望される方は、保健課までお問い合わせください。詳しくは以下のQRコードからご確認ください。

移住定住を支援する相談窓口を開設しました！
土日祝日対応の与謝野町移住支援窓口業務　　問 観光交流課 ☎43-9016

与謝野町では、人口減少対策として移住・定住を促進しています。これまでの平日の役場での対応に加え、移住相談者からの相談や物件確認が多い休日（土日祝日）に対応するため「与謝野町移住支援窓口業務」を10月から始めます。

移住相談数は年々増加傾向にあり、また、新型コロナウイルス感染症の影響により、都市部から地方への移住に関心を持つ人が全国的に増えていると言われています。今後は、空き家バンク物件や現地案内のほか、与謝野町の人や暮らしの紹介、先輩移住者との交流会の開催等により、きめ細かかつ積極的な移住促進を図っていきます。

《与謝野町移住支援窓口業務》
本業務は、公募型プロポーザルによって選定した「株式会社ローカルフラッグ（男山）」に業務を委託して実施するものです。

相談窓口のご案内

「特別な１日より、日常を伝える」をコンセプトに、移住・定住に必要な情報を継続的に伝える与謝野町移住支援窓口として取り組んでいきます。

■ 相談の対応時間
土日祝日の午前９時～午後５時
※ 12月28日～令和４年１月３日を除く
※ 平日は役場が対応

■ 相談の連絡先
☎ 050-3695-5059

バス・鉄道時刻表を発行しました
バス・鉄道ダイヤ改正　　問 企画財政課 ☎43-9015

10月2日に、バス・鉄道のダイヤ改正があり、「第23版与謝野町バス・鉄道時刻表」を発行しました。

広報よさの９月号（No187）でお知らせしていましたが、今回の発行分から各戸配布を行っていません。時刻表は次の場所で配布するほか、町公式ホームページ（以下QRコード）からもご覧いただけます。

主な時刻表配布場所
■ 役場各庁舎窓口
■ 与謝野駅
■ 丹後海陸交通株式会社
■ ひまわりバス車内
■ 観光協会（旧加悦町役場庁舎）
■ 加悦地域公民館・中央公民館・知遊館
■ クアハウス岩滝　など
※ 9月24日現在の情報です

発行した第23版時刻表

労働保険の成立手続きはおすみですか

11月は「労働保険未手続事業一掃強化月間」です

問 商工振興課 ☎43-9012

労働保険とは、労働（通勤）災害や失業等が発生した際に、保険給付等を行うことにより労働者の福祉の増進を図る制度です。原則として労働者を一人でも雇っていれば労働保険の適用事業所となり、事業主は成立手続（加入手続）を行わなければなりません。未加入の事業主の方は、次の点にご留意ください。

■加入勧奨・手続指導にもかかわらず、自主的に成立手続を行わない場合は、最終的な手段として職権による成立手続および労働保険料の認定決定が行なわれます。

■事業主が成立手続を行わない期間中に労働災害が発生した場合、遡って労働保険料を徴収されるほか、労災保険給付に要した費用の全部または一部が費用徴収されます。

詳しくは、京都労働局（☎075・279・3220）までお問い合わせください。

常時雇用者101人以上300人以下の事業者の方へ

女性活躍推進法の改正

問 商工振興課 ☎43-9012

令和4年4月1日から女性活躍推進法により、常時雇用する労働者が101人以上300人以下の事業主に対して次の事項が義務化されます。行動計画の策定・届出は令和4年3月31日までにお済ませください。

■自社の女性の活躍に関する状況把握、課題解決

■1つ以上の数値目標を定めた行動規格の策定、社内周知、公表

■京都労働局へ行動計画を策定した旨の届け出

■女性の活躍に関する1項目以上の情報公表

《常時雇用する労働者とは》

正社員、パート、契約社員、アルバイトなどにかかわらず、次の者を含みます。

■期間の定めなく雇用されている者

■一定の期間を定めて雇用されている者であって、過去1年以上の期間について引き続き雇用されている者、または雇い入れのとき から1年以上引き続き雇用されると見込まれる者

宝くじ助成金で整備しました！

地域コミュニティ活動の発展を目的に、一般財団法人自治総合センターの自治宝くじ受託事業収入を財源とするコミュニティ助成金を受け、算所区と岩屋区で備品を整備されました。宝くじ助成事業は、皆さんが購入された宝くじを財源として、コミュニティの健全な発展を支援しています。

算所区で整備された祭用法被

岩屋区で整備されたエアコン

地域おこし協力隊通信 61

魅力化コーディネーター 長谷川隊員

問 社会教育課 ☎43-9026

加悦谷高校および宮津天橋高校加悦谷学舎で活動している地域おこし協力隊の長谷川（はせがわ）です。

新型コロナウイルス感染症が急拡大しており、高校でもその対応に追われている9月です。子どもたちの命を守り、それでいて学びを止めない、ということを実現させるには越えないといけないハードルがいくつもあり、まだまだ試行錯誤が求められる状況です。

そのような中ではありますが、今回、新しい取り組みを始めました。その名も「Kayadani仕事図鑑（以下、「仕事図鑑」）」。

学校の役割はいろいろありますが、そのうちの一つは、生徒の希望進路の実現です。しかし、この希望進路は「生徒たちが知っている世界」の中での希望進路です。それは、とても狭い世界の中での選択でしかありません。そのため、いろいろな可能性を広げるために、もっと視野を広く持ってほしいとの思いが先生方にはあります。そのため仕事図鑑では、生徒の視野を広げる機会の一つとして仕かけます。

世の中にはさまざまな業界があります。その業界に従事している方をゲストに迎えて、インターネットや本からでは得られない『働くリアル』を届けていただきます。といっても、講演会のように一方的に話をしてもらうのではなく「対話・会話」を中心に行っていきます。そのため、生徒の人数はゲスト1人に対して5人前後。生徒とゲストで密度の濃い時間を過ごしてもらいます。仕事の話だけでなく、その仕事を選んだ理由など人生観にも触れてもらい、生徒に進路を選ぶときのヒントをたくさん得てもらいたいと考えています。また、生徒の自分の中にある「仕事図鑑」のページを増やしていく、そんな取り組みにしていきます。

仕事図鑑の開催の呼びかけに用いたチラシ

対面でのやり取りが最も効果を得られるので、なるべく対面での機会を設けていきたいと考えてはいますが、オンラインも駆使していきます。そうすることで町内の方だけでなく、日本や世界中の方々とつなげて、生徒たちの世界が広がる機会を提供していく、そんな取り組みにしていきます。

よさの 地域支えあい商品券
町内の約240店舗で利用できます。詳細は以下のQRコードからご確認ください。

与謝野町役場 ☎43-9000（代表）
総務課 ☎43-9010
防災安全課 ☎43-9011
商工振興課 ☎43-9012
会計室 ☎43-9013
建設課 ☎43-9014
企画財政課 ☎43-9015
観光交流課 ☎43-9016
加悦庁舎 ☎43-9001（代表）
税務課 ☎43-9020
福祉課 ☎43-9021
保健課 ☎43-9022
農林課 ☎43-9023
子育て応援課 ☎43-9024
教育委員会 学校教育課 ☎43-9025
教育委員会 社会教育課 ☎43-9026
議会事務局 ☎43-9027
CATVセンター ☎43-9028
野田川庁舎 ☎43-9002（代表）
住民環境課 ☎43-9030
上下水道課 ☎43-9031

おめでとうございます（敬称略）

町内に配布している広報誌には掲載しています

お悔やみ（敬称略）

町内に配布している広報誌には掲載しています

まちのうごき

令和3年8月末現在

人口	20,740人	（－30）
男	9,979人	（－12）
女	10,773人	（－18）
世帯数	9,015戸	（＋3）

※括弧内は前月比

※この欄で紹介する出生とお悔やみは、8月16日から9月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています

水道工事に伴う通行止めのお知らせ（予告）

岩屋地区の町道向岩屋本線において、水道管布設替工事を予定しています。つきましては、次の期間中は全面通行止めを行います。工事期間中は大変ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。

《通行止め場所・期間》
上地会館～町道岩屋川線の間
10月上旬～令和4年1月下旬の午前8時半～午後5時

問　上下水道課 ☎43-9031

ふれあいバスのご案内

社会福祉協議会では、買い物の送迎支援事業を実施します。

日時　12月21日(火)、23日(木)
※ 買い物時間は午後1時～3時
行き先　加悦谷ショッピングプラザ　ウイル
対象者　次の①～③に該当する交通手段を持たない与謝野町在住者
① 高齢者世帯（世帯全員満70歳以上）　② 1人暮らし高齢者（満70歳以上）　③ 障害者手帳保持者他①～③の付添者および介助者
定員　各日15人　※ 定員に達し次第、申し込みを締め切ります
費用　無料
問・申　10月25日（月）～11月8日（月）の間に、加悦支所（☎42-7553）、岩滝支所（☎46-5556）、野田川支所（☎43-0294）へ。

着物着付教室（初心者講座）の参加者募集

日程　【前期】10月22日、29日、11月5日、12日　【後期】11月19日、26日、12月3日、10日
※ いずれも金曜日（各4回講座）
時間　午後8時～10時
会場　染色センター　※ 参加無料
定員　各日10人
内容　【前期】きもの着上げ、帯結び（袋帯二重太鼓など）
【後期】きもの着上げ、帯結び（名古屋太鼓、変わり結びなど）
持ち物　着物、帯、小物類等
講師　和装総合学院　長島みやこ氏
問・申　10月20日（水）までに、商工振興課（☎43-9012）へ。

障がい児・障がい者ふれあいの集いの開催

日時　11月27日（土）午後1時半～3時20分ころ
場所　岩滝ふれあいセンター
対象者　与謝野町在住の障害者手帳所持者とその介助者（家族）、町障害者福祉会会員、町障がい児を守る親の会会員
※ 在宅の方を対象とします
参加費　無料
内容　フラワーアレンジメント、レクリエーションなど
定員　20人　※ 定員に達し次第、申し込みを締め切ります
問・申　10月22日（金）～11月5日（金）までに、社会福祉協議会野田川支所（☎43-0294）へ。

ふれあい元気づくりの日

健康づくりや介護予防、元気づくりの場、集いの場として実施しています。どなたでも、いつからでも参加できます。参加無料。

日にち・会場
■ 10月18日（月）　岩滝保健センター
■ 10月25日（月）　元気館
内容
午前9時半～10時・・・健康相談（血圧測定、保健師との個別相談）
午前10時～11時・・・講話とレクリエーションなど
問　保健課 ☎43-9022

自衛官を募集します

《自衛官候補生》
資格　18歳以上33歳未満の方
受付期間　お問い合わせください
試験日　受付時にお知らせします
問・申　京丹後地域事務所
☎0772-64-2498

看護職就業相談会の開催

公益社団法人京都府看護協会京都府北部看護職支援センターでは、次のとおり看護職就業相談会を開催します。参加無料。

日時　11月10日（水）午後1時半～3時
場所　ハローワーク宮津
問　京都府北部看護職支援センター　☎46-9002

つまみ細工体験講座の受講生募集

日時　11月18日、25日、12月2日、9日、16日　午後7時半～9時半　※ いずれも木曜日
場所　加悦地域公民館
対象　18歳以上の与謝野町在住者または在勤者
講師　小川直美氏
定員　18人（先着順）　※ 6人以上の申し込みで開催
教材費　3,000円
問・申　10月12日（火）から11月7日（日）までに、加悦地域公民館（☎43-0335）へ。なお、申込書は加悦地域公民館、中央公民館、知遊館にあります。

聞こえの相談会の開催

日時　11月10日（水）午後1時～4時　※ 参加無料・要予約
場所　元気館
問・申　11月5日（金）までに、福祉課（☎43-9021）または与謝郡聴覚言語障害センター（☎46-5390）へ。

チェーンソー安全講習会

日時　11月7日（日）午前9時～午後3時半　※ 少雨決行
集合場所　加悦椿文化資料館
参加費　3,000円　※ 昼食を希望される方は別途700円
定員　10人
服装等　作業に適した服装、チェーンソー、ヘルメット等
問・申　11月1日（月）の午後5時までに、よさの三四の森の会（市川 ☎090-8935-0668）へ。

道路に泥を落とさないように

農作業でトラクターなどの農業機械を使用した後は、機械についた泥などをほ場内で落としましょう。道路に落ちた土や泥のかたまりは、事故につながる恐れがあります。道路に土や泥が落ちたときはすぐに取り除いてください。

問　農林課 ☎43-9023

育林コンクールの応募

与謝地方林業研究会では、次のとおり育林コンクールを実施します。

資格　宮津与謝地域の森林所有者
対象林分　宮津与謝地域に生育する26年生以上のスギ・ヒノキ人工林で、面積が0.1ha以上のもの
入賞点数　▼最優秀賞1点　▼優秀賞1点　▼優良賞1点　▼奨励賞数点
表彰式　令和4年7月ころに与謝地方林業研究会総会において表彰
問・申　11月9日（金）までに、応募用紙を丹後広域振興局農林商工部森づくり振興課（☎0772-62-4306）へ。

江山文庫読書会 与謝野晶子の童話を読む
「神様の玉」
日時　10月22日（金）　午後1時半～3時
問　江山文庫 ☎43-2180

着物でぶらりちりめん街道2021
中止のお知らせ
新型コロナウイル感染症の感染拡大防止のため開催を中止します。
問　旧尾藤家住宅 ☎43-1166

与謝野町地域経済分析調査にご協力をお願いします　問　商工振興課 ☎43-9012

与謝野町地域経済分析会議では、町内経済の実態・消費動向・企業間連携の状況や可能性をデータで分析することで、町内での地域内再投資を拡大し、地域経済の発展に寄与する政策提言を行う予定をしています。10月から町内の地域経済の現状を把握するため、町民の方・町内事業者の方・町内事業所に勤務されている方を対象に基礎調査を実施します。調査対象となられた方はご協力をよろしくお願いします。
なお、令和4年2月ころに成果報告会の開催を予定しています。

与謝野町地域経済分析会議
与謝野町の経済活性化およびまちづくりに寄与することを目的に、商工会・観光協会・行政が連携し、岡田知弘氏（京都大学名誉教授・京都橘大学教授）、小山大介氏（京都橘大学准教授）を委員に迎え6月に立ち上げた委員会。

困ったら一人で悩まず行政相談　問　住民環境課 ☎43-9030

10月18日から24日は全国一斉「行政相談週間」です。国や独立行政法人などの仕事やサービスについてお困りのこと、お尋ねになりたいことなどをお聞きします。与謝野町では「行政相談所・心配ごと相談所」として、毎月3回の定例相談所を開設しています。相談は無料で、秘密は厳守されます。お気軽にご相談ください。

日程	場所
10月11日（月）	岩滝ふれあいセンター
10月18日（月）	社協野田川支所
10月25日（月）	商工会加悦支所

※ 時間は各会場ともに午後1時～3時

各種イベントや相談等は、新型コロナウイルス感染症の状況により、開催内容等が変更または中止にになる場合があります。詳しくは、お問い合わせ先までご確認いただきますようお願いします。

【広告】

停電が発生した時には「停電情報アプリ（関西電力送配電）」が便利です。スマートフォンに地域の停電情報が届きます。その他、関西電力送配電ホームページや同社コンタクトセンター（TEL0800-777-3081）でも確認できます。

伝統的技法 × 最先端技術

京都府内６市町（京丹後市・宮津市・与謝野町・福知山市・南丹市・八幡市）で日本博京都府域アートフェスティバル「ALTERNATIVE KYOTO －もうひとつの京都－」が10月１日に開幕しました。与謝野会場の展示を手がけるのは、アーティストのスプツニ子！（尾崎ヒロミ）氏とファッションデザイナーの串野真也氏のコラボユニット「ANOTHER FARM（アナザーファーム）」。丹後ちりめんの里で「シルク」を使ってアナザーファームが伝えたいこととは。展示の準備に訪れた串野さんに、作品への思いを聞きました。

展示のコンセプトは「Boundaries（バウンダリーズ）」。訳すと「境界」。アナザーファームの作品は「境界」を意識し、科学やアートの境界線を越えた表現や、最先端技術を使い人間が越えても良い領域を表現する作品が中心となっています。テーマは与謝野町のシルクの歴史が深いことと、アナザーファームがシルクを題材にした作品を手がけていることから、「シルクロード」にしたと串野さんは話します。

「光るシルク」で空間を演出

与謝野会場で展示する作品は、アナザーファームが２０１９年に森美術館（東京都）で展示した「光るシルクで織り上げた能衣装」。光るシルクは、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の遺伝子組み換えの技術で、蚕が卵のときにクラゲの遺伝子を入れることによって、光を当てると発光するというもの。「普通では目にすることができないシルクを使用しているのが最大の特徴。能衣装を宙に浮かせ周囲に糸を配置し、ブラックライトを当てることで、蚕が糸を吐き衣装を縫うようなイメージを表現します」と展示のイメージを膨らませます。

しかし、同じ作品を展示するにも一筋縄ではないという。シルクはタンパク質を含んでいるため、温度や湿度が高いと発光しなくなる欠点がある。「たんぱく質が含まれているため、ある種生き物のような感じで受け止めています。森美術館の展示から2年が経過しているので、経年変化とは違う変化の風合いも楽しめるのではないか」と串野さんも展示を楽しみにする一人です。

展示されているアート作品

境界をなくし、思いを一つに

展示に向けて短期間で何度も与謝野町に足を運び、串野さんの中で一番印象的だったのが人の温かさ。「与謝野町は合併を経験したまち。このシルクのアート作品が皆さんをさらに結束させ、思いを一つにするきっかけにしたいです」と作品に思いを込めます。

最後に、アート作品の感じ方は人それぞれ違いますが、皆さんにシルクの可能性を感じてほしいと話してくれました。

－ プロフィール －

くしの・まさや
1982年生まれ　広島県出身
京都芸術デザイン専門学校を卒業後、イタリアに留学し、「Istituto MARANGONI」ミラノ校のファッションデザインマスターコースにてディプロマを取得。帰国後、「JILA LEATHER GOODS AWARD2007」でグランプリを受賞したことをきっかけに、革を中心とした靴や鞄などを展開するブランド「Masaya Kushino」をスタート。その活動は日本だけに留まらず、海外でも積極的に作品を発表し続けている。
出展　串野真也氏ホームページ

催しの内容

テーマ
シルクロード
― Boundaries ―

日　時
10月1日（金）～ 11月7日（日）
午前10時～午後５時（最終入場　午後４時30分）
※ 金土日および祝日のみ公開〔11月４日（木）は臨時公開〕

場　所
旧加悦町役場庁舎

発行 与謝野町役場　編集 企画財政課
〒629-2292 京都府与謝郡与謝野町岩滝 1798 番地 1
TEL 0772-43-9015（直通）
FAX 0772-46-2851
URL https://www.town.yosano.lg.jp/
Email kikakuzaisei@town.yosano.lg.jp
広報紙へのご意見を募集しています。